



# スカウト 浄土

The Scout Jōdo

## 海外浄土宗スカウト特集



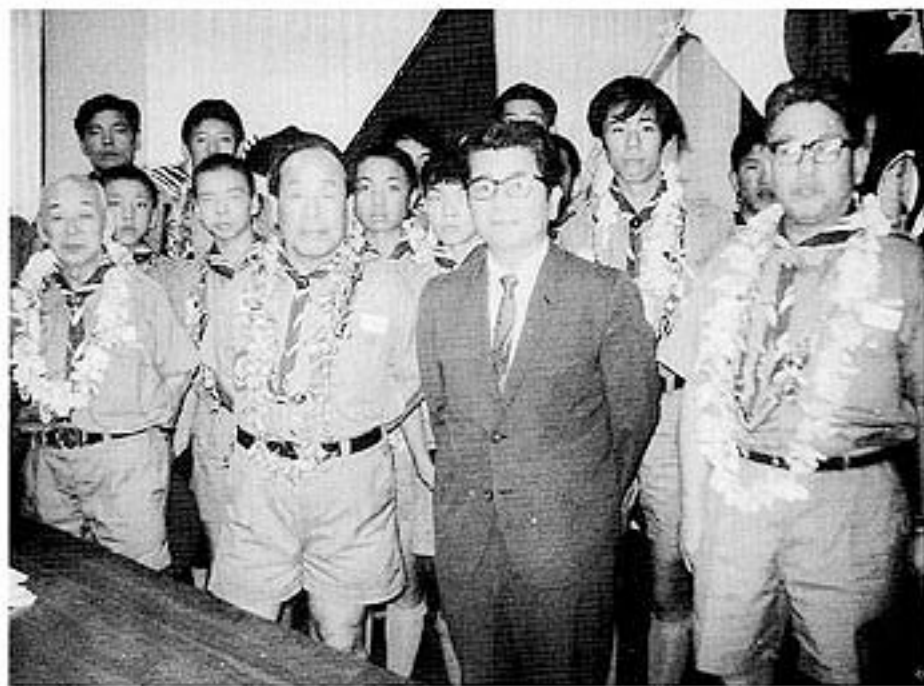
# ハワイ浄土宗

## スカウトについて

ヒロ明照ボーイ

スカウト第50団顧問

梶原 順 慈



1969年8月 第1回浄土宗スカウトハワイ派遣団 ハワイ郡市長 木村春一氏を表敬訪問

ハワイ浄土宗のスカウティングは、第二次世界大戦後の一九五三（昭和二十八）年四月に始まりました。

皆様ご存じのように、浄土宗のハワイ開教は、一八九四（明治二十七年）三月二十五日、長野教区柏心寺出身の松尾諦定上人がハワイ州（その当時、米国属領ハワイ県）ホノルル港に上陸され、布教を始められたことに始まります。一九九四年十月、ここハワイにおいて浄土宗ハワイ開教百周年記念慶讃大法要をお勤めいたしました。

戦前は、特に日本人、日系人としてのアイデンティティーを失わないように、そして日系人としての誇りを持つように、日本人としての基礎的な道徳、文化を継承するように、日本語学校、各種日本文化クラス（茶道、華道、柔道、剣道、裁縫等）などがほとんど毎日、開教使、その奥様の開教助員の手により進められてきました。しかし、一九四一年（昭和十六）年十二月七日（日本では十二月八日ですが、時差の関係で、ハワイでは七日になります）日本が戦争することとなり、戦争勃発とともに、殆どの開教使は敵国日本人の指導者であるということで強制的に連行され、収容所に入れられました。その日から、日本語を使うことは禁じられ、当時小中学校の児童だった若者たちは、日本語学校へも行くことができず、日常会話も段々と英語になっていきました。

四年後の一九四五（昭和二十）年、終戦を迎え、開教使は、アメリカ大陸の収容所から次々に帰ってきて、寺院活動が再開されました。しかし、今までメンバーだった人もキリスト教に改宗したり、また、都会へと流れて行ったりで、戦後の寺院は、荒廃の一途を見ような感じだったと記されています。ですから、今までのように日本語学校、日本文化のクラスは不要と考え、むしろ、よき米国民民へと宗教を通じた教育内容が変化していったのです。檀信徒の教育は日本人、日系人のアイデンティティーを保ちつつ、良き日系アメリカ人としてアメリカ合衆国への忠誠を誓う教育へと転化していったのです。今でも年寄りには「昔は修身があったから日本人は犯罪をおかすこともなかったのだ。日本人が罪をおかすのは日本人としての誇りを捨てた証拠で恥じるべきだ」とよく口

にします。

大戦後、日本人を相手に日本語で教化を進めてきたハワイ浄土宗は、戦争勃発と共に日本語学校を強制的に閉鎖され、英語による教化が押し進められました。戦前より、特に二世を中心とする若者を対象に「仏教青年会」が組織され、各寺で青少年活動が盛んになっていきましたが、戦後は特に、日本語が理解できても話せない世代を中心にこの青少年活動が進められ、加えて、ハワイの布教のあり方をキリスト教や他宗教から学び、各寺で、浄土宗の将来を担っていく若者の活動が教化の一つの柱となって行きました。

スカウティングは、「ASCOUTS REVERENT」と言われるように、当初より、若者がスカウト活動を通して、良き米国民となり、良き佛教徒となり、将来、各地域の良き指導者となることを目的に各寺院や教会、地域、学校等で組織されました。

浄土宗では、特に檀信徒の数が多く、活発な教化活動をしているホノルルのハワイ浄土宗別院、ハワイ島のヒロ明照院を中心に組織されました。

1965年 僧伽章授賞式 ヒロ明照院



ヒロ明照院では、戦後八年たった一九五三年（昭和二十八）年四月三十日、「ヒロ明照シニア仏教青年会」がスポンサーとなり、青年会の会員がスカウトマスター、カブマスターとなり、活動を展開してきました。

結団当時の名簿を見ると、星出昭雄、原和義、田中元義、宮地健市などが最初の指導者、即ち「ヒロ明照シニア仏教青年会」の役員で、この人達は今はもう八十歳に手が届くかと言う年齢に達しており、半数は既に故人になっています。岡村アーノルド、下田ロイド、宮地ロバートなど、今では六十歳近い、そして、既に教団の理事長をもつとめた人達が最初のスカウトとして名を連ねています。

当初は手さぐり状態で、地域団、スカウト地区事務所、学校、他宗派寺院のスカウトの活動を見せて頂き、青年会の指導者が日夜暗中模索の中に、佛教寺院がスポンサーするスカウト活動を展開していったのです。



1970年8月 第1回  
ハワイ浄土宗スカウト派遣団

カブスカウト、バック五十は、ボーイスカウトから選ばれること  
十三年、一九六五（昭和四十）  
年に結団、これで、小学校入学  
から高校までカパーでできること  
になりました。

既に故人も多いのですが、昔  
年会の役員で、このスカウトマ  
スターを勤めた人は、殆ど教団  
の理事長となり、教団運営に貢  
献してくださいました。ですから、  
スカウト活動で得たノウハ  
ウは、ただスカウト活動にとど  
まることなく、会社、地域、所  
属諸団体などで生かされていま  
す。指導者本人がその活動から  
学んだこともたくさんありまし  
た。

もう十年になりますが、日系

人として、また東洋人として、  
また、佛教徒として始めて宇宙  
へ飛んだ故、鬼塚エリソン氏も、  
中学、高校とハワイ島コナ本願  
寺所属のボーイスカウトで活躍  
され、イーグル・ランクまで進  
んだ一人です。

特にハワイの社会で、判事、  
小中学校、高校の校長、各地区、  
社会事業団体の代表者にこの「イ  
ーグル・スカウト」のランクに  
進んだ人が多いのは特筆すべき  
点と思います。

このイーグル・スカウトにな  
れるのは、実に百名のスカウト  
のうちの一、二名と言われてお  
り、一年生入学の時、タイガー・  
カブ・スカウトに入隊して更に  
十二年間にわたり、その活動が  
顕著なスカウトに、色々な審査  
がなされ、決定されるのです。  
ですから、この「イーグル・ス  
カウト・コート・オブ・ホーナー」  
の席には、両親を始め、親類一  
同や学校のクラスメート、同じ  
スカウトの仲間、所属する寺院  
の僧侶、学校の先生までもが駆  
けつけてお祝いをしてくれます。  
アメリカ合衆国大統領も、この

席に祝電を打って下さいます。  
それほど名誉なことなのです。  
ヒロ明照ボーイスカウトからは、  
過去四十年近くの間二十五年  
程がこのイーグル・スカウトに  
進んでいます。

ヒロ明照ボーイスカウト、  
カブ・スカウトはアロハ・カウ  
ンシルの「ブカヒ地区（ブナ、  
カウ、ヒロ地区）」に所属し、  
活動を続けています。近年、近  
くの公立学校でカブスカウトの  
団が組織され、学校のPTSA  
(PARENTS・TEACHER  
AND STUDEN  
TS ASSOCIATION)  
がスポンサーになり、活動して  
いますが、まだボーイスカウト  
の団が組織されていないため、  
ここを卒団したスカウトが毎年  
沢山私達ヒロ明照ボーイスカウ  
トに入団してきます。おかげで  
ブカヒ地区では最大の団となり、  
活発にスカウティングに励んで  
います。そうすると、アクティ  
ブな団だと言う話を聞いて、ま  
た入団者が増え、前にも増して  
活発にスカウティングに励んで  
います。



第5回 浄土宗スカウト訪布団 淡田長から記念品



第5回 浄土宗スカウト訪布団 桑原副団長から記念品



第6回  
浄土宗スカウト訪米団と交流風景

一九六九（昭和四十四）年七月二十五日より八月四日まで、第一回浄土宗スカウト派遣団一行がここハワイを訪問、各地の寺院で交歓会を開き、特に、ホノルル、ヒロではホームステイをしたり、日米合同キャンピングに参加したり、日米のスカウトの輪を広げました。

翌一九七〇（昭和四十五年）年、当時ヒロ明照院主任開教使で、ハワイ開教区青少年部主事であった中村良親師を団長に、ヒロ明照ボーイスカウトを中心として「ハワイ浄土宗スカウト派遣団」が組織され、約三週間にわたり、日本各地の浄土宗スカウトと交歓を深めました。この時に参加したスカウトも今や四十

代、もう、その子供たちがスカウトに入団しています。本当に月日のたつのは早いもの、スカウトリーダーの娘さんと、日本から来たスカウトが結婚した例もホノルルであります。

それから十年の間に、浄土宗スカウト協議会所属のスカウトが個別にここハワイを訪問され、ホノルルやヒロのスカウトと交歓会を開かれたこともあり、

一九八〇年、牧達雄師を団長に、第二回浄土宗スカウトハワイ派遣団が来布、全島の全寺院を訪問され、スカウトばかりではなく、こちらの仏教青年会や教団のメンバーと親しく交歓会を持ったのがつい昨日のような気がいたします。

一九八六年、第二回ハワイ浄土宗スカウト派遣団が七月二十五日、ハワイを出発し、三週間にわたり各地の浄土宗スカウトと交歓会を持ちました。

翌一九八七年八月には、第二回浄土宗スカウト派遣団が組織され、各寺を訪問したのち、ヒロ明照ボーイスカウトと合同の二百名のキャンプを、今はプリ

ンス・ホテルが建っているハブナ・ビーチで張りました。

その後、一九九二年八月、第三回浄土宗スカウト派遣団一行が北米開教区訪問の帰途、ここハワイを訪問されました。

佛教草（サンガ・アワード）も、数年に一度、毎月二回、毎回一時間半、二年間で七十二時間にわたり受講し、テストに合格すれば僧伽章（サンガ・アワード）が与えられます。

ボーイスカウトは勿論、スカウトのリーダーもこれを受講します。また、近年、株スカウトを対象に、メック・アワードのクラスも開講されました。これは一年間で終了します。

一九九三年には、アメリカ大陸で開催されたナショナル・ジャンボリーにもリーダー、スカウト約三十名が参加、一年に六回のキャンピング等、顕著な活動をしています。

今や、ヒロ明照ボーイスカウト、カブスカウトは、ヒロ地区の健全な青少年育成のためになくてはならない存在になっています。



第6回 浄土宗スカウト訪米団交流風景



第6回 浄土宗スカウト訪米団(おつとめ)

# ペンの全国リレー スカウトに聞かせる話 (その5)

第5回 日本ジャンボリー



## 式次第 The program of the jamboree

1. 開式のことば The Opening Address
2. 讃歌 A Greeting Song "栄会" Chant

3. 献行・献香・献儀 Offering of light, incense, and flowers
4. 讃皇地誓 Hymn offering by Scouts, Scouts, Scout Leaders and Scoutmasters
5. 合掌礼拝 Worshipping in Prayer
6. 三篇読文 Recitation

讃皇地誓 人皇万代の御代に、今やここに、皇國の  
 神代、今ここに集り、  
 この地を皇土とて誓ひ奉らん、皇土に御代を  
 承りて、今ここに誓ひ奉らん、  
 天皇ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇國ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇土ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇國ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇土ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、

8. 日蓮十念 Jamboree
9. 合掌礼拝 Worshipping in Prayer
10. 法話 Sermon  
浄土宗 社会局長 竹田英太郎

日蓮十念 日蓮宗の御代に、今やここに、皇國の  
 神代、今ここに集り、  
 この地を皇土とて誓ひ奉らん、皇土に御代を  
 承りて、今ここに誓ひ奉らん、  
 天皇ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇國ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇土ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇國ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、  
 皇土ももたらさるる御代に、  
 今ここに御代を承らん、

## 蔵王山麓の大十念

浄土宗スカウト連合協議会理事長 溪 逸 郎

日本ジャンボリーの日曜礼拝に参加した人は多い事だともいいますが、全体の八割以上が仏教徒ですから仏教の会場は礼拝に参加しないスカウトを差し引いても一万人の大動行ということになります。今回は浄土真宗、今回は天台宗という具合に各宗が順番に当番を勤めてまいりましたが、各宗の合同で行うのですから用いるお経一つにしてもなかなか難しいのです。たとえば般若心経ならば何宗でも良いかと思うと、一番大きな東西本願寺さんが心経はお読みになりません。そこで、ブツダムサラナムガッチャーミーと音楽法要がおおよそ主体となります。ところが、昭和五十三年、大会が富士の裾野で開催されたことです。準備打合せの仏教スカウトの会議で、当番宗派である日蓮宗の代表が言うのです、「なしる会場が身延山のすぐ近くですから、多分管長様が御でましになるでしょう。其処でブツダムサラナムばかりでは具合が悪いのです。ちょっとだけでも日蓮宗のお経をやらしてもらえませんか」そこで私たち浄土宗が応援をいたしました。「いずれ各宗に当番が廻ってくるのだから、真中あたりの五分間くらいは当番宗派の独自のお勤めをして、も良い事にしましょう。」その案が通

りまして、法華経の一部を和文に翻訳したのを読んで日蓮宗当番の日曜礼拝が行われたのであります。さてそのつぎの昭和五十七年のジャンボリーがいよいよ浄土宗の当番でした。会場は宮城県の蔵王山の麓です。へ地もとの宮城団の皆さんにはとてもご苦労をかけたのですが、おりあしく雨台風が来まして、まだ台風の余波が残ってぶうぶうと風の吹いている中で日曜礼拝となりまして、みんな雨具をつけたままでの行事となったのでしたが、いよいよ例の法要の真中の当番宗派独自の部分です。

浄土宗はお念仏です。「さあみんな大声を揃えて、大きな声でナムアミダブツとお念仏を十回唱えをしましょう。」と司会者の声。

仏教の礼拝場は何時も中央のアーリーナーです。大きなトラランベットスピーカーが幾つも並べてありまして、何処までも音が響き渡るようになっていのです。「さあみんなで力いっぱいお称えしましょう、同称十念、一万人のスカウトが「ナムアミダブナムアミダブ」御念仏の音が、蔵王の山に響きわたったのであります。

日曜礼拝の集会が終わりまして、やれやれお除穢で責任を果たすことがで

きたと、大会本部の宗教部のテントに帰って参りますと、禅宗の代表の音川さんという方が私を見るや否やこう言うのです。「いやー浄土宗さん派手にやっただねー」「派手って音川さん、約束の五分どころお十念は一分以内ですよ」と私、「いやーあんたんとこの同称十念でのはたいしたもんだよ、まいったまいった」禅宗ですから愛め方も荒っぽいのですが、その内にキリスト教の方も金光教の方もみんな帰ってきて、口々に「響き渡ってしまいましたねえ、びしっと引き締まってとてもいいですねえ」と、みんなが感心して褒めてくれるのです。

考えてみますと、禅宗は座禅で黙って座るのが中心、般若心経といっても時間がかかる。浄土真宗も教えはお念仏ですが、浄土宗のような称え方はありません。

いろいろの宗教のいろいろの拝みかたがありますが浄土宗の同称十念のように声と心が自然に一体となって、しかもみーんなが一緒にびしっと短く引き締めて拝むことのできる作法は、ほかには無いのでございます。

私は他の宗の皆さんから褒められたり、うらやましがられたりいたしまして、あらためて、同称十念、のすばらしさを思いしらされたのでございまして。

今もまた、蔵王山麓に響き渡った全スカウトの、あの壮大な大合唱の十念をありありと想い出すのです。

今、うちの団では……

## 各地のスカウトだより

ボーイスカウト

熊本県連盟水俣第一団

カブ隊長 浜田 智海

平素スカウト活動を行っていて感じる事は、リーダーとスカウトたちだけの自己満足の活動に終わっている場合が多いのではないだろうか、と考え、この事がけっきょくは一般の方々にボーイスカウトをわかりづらくし、新規隊員確保を難しくしているのでは、と言う事から、継続的に地域社会に対する貢献プログラムを企画し、現在実行しています。

そのひとつは、フラワースタンプ車いす運動、というもので、市内の商店街で買い物をするという買物の金額に対してスタンプをくれます。これを一冊¥二〇、〇〇〇円分収集すると市内金融機関で、¥五〇〇〇円に換金してくれます。これを利用する事を思い付き、

を地元福祉協議会、一台を昨年の阪神淡路大震災の神戸市民生局へ贈呈しています。この活動を通じてスカウトたちは福祉を直に学び、また、車いすを実際にお使いになる障害者の事を学んでいます。これに関連して五年前から車いす講習会を開催し、車いすの取扱い、実際に乗車しての体験、そして車いすを使ったゲーム等を行っています。我々ボーイスカウトもどんだん地域社会に飛び込んで行かないと取り残されていくと考えます。今後も継続して地域社会に貢献していくスカウト活動を積極的に展開していきたいと思えます。

ボーイ・シニア隊が中心となり、手作りでスタンプ募金箱を作り、スタンプ加盟店約四〇店舗に設置してもらい年二回、回収、換金しています。これにより集めた浄財は銀行口座に積み立てておき、車いすが購入できる金額になったら口座から下ろし、車いすを購入し、福祉協議会等に贈呈しています。この活動を始めて三年目になりますが、これまで四台の車いすを購入し、三台



## 浄土宗スカウト30周年記念

訪米スカウト募集(ロスアンゼルス・ハワイ)

日時/平成9年8月16日~8月22日

訪伯スカウター募集(サンパウロ・リオデジャネイロ)

日時/平成9年8月19日~8月26日

詳細は浄土宗スカウト連合協議会にお尋ね下さい。

団	発送日	氏名	寺院名	教導職
京都	27	松本 滋生	崇泰院	大内立現
京都	27	井上 真吉	崇泰院	大内立現
京都	27	南 宏信	崇泰院	大内立現
京都	27	原 啄躬	崇泰院	大内立現
横浜	79	仁尾 和道	安養寺	大場滋雄
大阪	124	小野田 正光	満願寺	小林昭五
大阪	124	大森 寛之	満願寺	小林昭五
大台	2	岡田 勇一郎	正定寺	中原善正
茨木	3	辻田 郁直	愛雲寺	田中道信
茨木	3	湯本 顕	愛雲寺	田中道信
上田	13	木内 智宣	呈蓮寺	横内野真
西尾	11	市川 智宣	貞照院	牧野野光
西尾	6	杉浦 貴啓	貞照院	牧野野光
西尾	6	安藤 芳朗	貞照院	牧野野光
檀原	9	宮脇 啓介	西光寺	五十栖和雄
木更津	3	松本 鋭介	選擇寺	山本本恭
木更津	3	片桐 浩行	選擇寺	山本本恭
木更津	3	春原 伸哉	選擇寺	山本本恭
木更津	3	須藤 直敬	選擇寺	山本本恭
木更津	3	三谷 健師	選擇寺	山本本恭
木更津	3	安部 洋平	選擇寺	山本本恭
君津	2	桑島 晋司	選擇寺	山本本恭
大阪	27	平田 純	選擇寺	山本本恭
木更津	2	野中 亮	選擇寺	山本本恭
木更津	2	釜道 紀浩	選擇寺	山本本恭
木更津	2	安藤 和秀	選擇寺	山本本恭
木更津	2	浪久 信	選擇寺	山本本恭
木更津	2	白井 賢一	選擇寺	山本本恭
木更津	2	高橋 一曉	選擇寺	山本本恭
四街道	1	波谷 勇介	選擇寺	山本本恭
四街道	1	毛見 洋介	選擇寺	山本本恭
千葉	17	三浦 貴	選擇寺	山本本恭
千葉	17	戸塚 亮	選擇寺	山本本恭
名張	2	小路 芳英	西浄方寺	稲垣大秀
仙台	35	高橋 正基	浄浄土院	中村秀正
仙台	35	高橋 基樹	浄浄土院	中村秀正
愛媛	16	宇高 要	清光寺	岡本圭示
品川	1	松岡 夏樹	清光寺	岡本圭示
千葉	2	坂田 智彦	清光寺	岡本圭示
名張	2	六反田 和也	西浄方寺	稲垣大秀

# 栄誉言を讃頌えましょよう

## 浄土宗仏教章授与スカウト (平成七年三月〜平成八年二月)

## 編集室より

春・夏二回の発行を目標にしていたが、実現出来ませんでした。今年こそと思っています。今回は海外浄土宗スカウト特集として、ハワイのヒロ明照院の嶋原師に執筆をお願いしました。ご多忙のなか本当にありがとうございます。益々のご発展を祈念いたしております。

ブラジルから櫻井君が二月に帰国しました。夏のおてつき子供奉仕団の打合せを終え、ビザの申請をして急遽渡伯しました。来年の訪伯団に多勢のスカウターが参加して、サンパウロにスカウトが再生するよう声がけしましょう。三十周年記念でロスにもハワイにもスカウトが派遣されます。ロスにも浄土宗スカウトがと思うのは欲ばりでしょうか。今回からA4でカラーの体裁になりました。利商印刷(株)さんの協力で大変読み易くなったと思います。深心より感謝申し上げます。

スカウト浄土(第十六号)

発行/平成八年三月十五日

京都市東区林下町

浄土宗宗務庁社会局内

浄土宗スカウト連合協議会

編集者/東海林 良 雲

印刷/利商印刷